

# '13もんじゅを廃炉へ！全国集会

## ムリ・ムダ・危険なもんじゅは廃炉しかない！！

昨年11月に「もんじゅ」で約9700カ所もの点検漏れが発覚し、原子力規制委員会は今年5月30日に高速増殖炉「もんじゅ」に運転再開準備の禁止命令を出しました。その後も未点検の機器が明らかになり、現時点で14000点を超えるまでになっています。こんなにずさんな管理をしていた日本原子力研究開発機構に、軽水炉原発より比べものにならないくらい危険だと言われる「もんじゅ」を運転する資格はありません。

いま原子力機構改革本部は、組織の抜本的な改革を議論し、原子力機構の業務を、▽もんじゅを中心とした核燃料サイクルの研究開発、▽東京電力福島第1原発事故への対応、▽原子力の安全研究、▽原子力の基礎研究や人材育成の4分野に絞り込もうとしていますが、しかし、日本原子力研究開発機構の元組織であった動力炉・核燃料開発事業団(動燃)の16年前の組織見直し論議で示された考え方と全く同じような内容であり、とても原子力機構改革が成功するとは考えられません。

原子力規制委員会は、「もんじゅ」に対する安全基準を軽水炉に準じた多層安全設備を要求しています。炉心の冷却材に液体ナトリウムを使うもんじゅは、炉心の冷却機能を喪失したときに外部から大量の水を注入して冷却することはできないという根本的な欠陥を持っています。実質的に運転再開は難しいのではないのでしょうか。

もんじゅを廃炉に追い込んでいくのに、あと一歩です。

日時：**12月7日** ⊕ 午前11時～午後4時

現地抗議集会と原子力機構申し入れ  
もんじゅ廃炉を求める全国集会

- ①もんじゅの現状と今後の闘いについて
- ②もんじゅ廃炉へ、再稼働をとめよう
- ③隠されてきた活断層
- ④「エネルギー基本計画」ともんじゅ
- ⑤もんじゅと防災計画

市内デモ プラザ萬象～敦賀駅周辺まで

白木海岸 午前11時  
プラザ萬象 午後1時～3時

原子力発電に反対する福井県民会議

鎌田慧さん(ルポライター)

武本和幸さん(柏崎刈羽原発反対地元三団体)

伴英幸さん(原子力資料情報室)

末田一秀さん(反原発運動全国連絡会)

午後3時～4時

●敦賀市白木海岸(もんじゅ前)行き

12月7日(土)午前9時40分 JR敦賀駅前出発 貸し切りバス代往復1500円  
最終午前10時 満席になり次第、発車

**12月6日(金) 午後4時30分 脱原発全国交流会** 敦賀商栄会館2F

全国集会に賛同してください

郵便振替口座 00760-6-50628 原発反対福井県民会議 もんじゅを廃炉へ！全国集会賛同費  
個人賛同費/一口1000円以上 団体賛同費/一口5000円以上

'13もんじゅを廃炉へ！全国集会実行委員会

呼びかけ団体 原子力発電に反対する福井県民会議/原水爆禁止日本国民会議/原子力資料情報室/ストップ・ザ・もんじゅ/反原発運動全国連絡会  
連絡先 原子力発電に反対する福井県民会議 〒910-0859 福井市日の出3-9-3 TEL0776-25-7784 FAX0776-27-5773  
福井県平和センター TEL0776-21-5321 FAX0776-27-5773

# ムリ・ムダ・危険なもんじゅは廃炉しかない!!

## I. もんじゅが内包している危険性は変わっていない!!

### プルトニウムの危険

1gで440万人分の致死量に当たる猛毒物質。毒性が半減するのに2万4千年もかかる半永久物質。核兵器の材料にもなる。もんじゅは炉心に1,200Kgも詰め込んでいます。

### ナトリウムの危険

空気や水に触れると激しく爆発炎上する扱いが困難な物質。もんじゅには1500tものナトリウムが使われ、ごく一部が漏れただけで1995年の重大なナトリウム火災事故が起きました。

### 炉心崩壊事故の危険

暴走しだすと出力上昇が加速し、炉心爆発の危険性が大きい構造となっています。

### 地震に弱い原発

配管の厚みは薄く、長く蛇行し、外部の衝撃を受けると破断しやすい構造です。

## II. 経済的に成り立たない!!

### ①高速増殖炉は軽水炉に比べ危険性が大きいために安全対策に多額のコストを要する。

建設費だけでも、出力当たりで比較すると軽水炉の約5倍の費用がかかっています。

### ②多額の維持管理費が投入されている。

平成25年度予算の概算要求額でも、維持管理や安全対策のためのもんじゅ基盤経費が174億円、施設管理などのための高速増殖炉サイクル実用化基盤経費が28億円を要求しています。それだけでなく、もんじゅの必要性が認められた場合に試運転などにあてるエネルギー政策対応費として78億円を新規に計上しています。

### ③燃料関係でも多額の費用を要する。

製造、輸送、管理、核不拡散保証措置、等々

### ④さらに巨額の開発費を投入しても実用化はムリ

高速増殖炉の実用化のためには、もんじゅ→実証炉→実用炉と開発を進めなければなりません。高速増殖炉本体の開発だけでなく、高速増殖炉用核燃料サイクルの開発も必要で、さらに巨額の開発費が投入されることとなります。「2030年代原発稼働ゼロ(政府方針)」となれば実用化はムダとなります。

## III. もんじゅは活断層銀座のど真ん中

敦賀半島は文字通り活断層銀座。「もんじゅ」のサイト直下にM6.9を引き起こす活断層が2本も走っています。敦賀原発、美浜原発にもサイト直下に活断層が。全国でも例を見ない活断層の上に原発が建設されています。敦賀半島は、ひずみエネルギーが蓄積された空白地域であるため、地震学者が「原発震災」を警告している要危険地域です。

## IV. 高速増殖炉原型炉もんじゅを「使用済み核燃料から出てくる廃棄物を減らすための研究炉」に?

使用済み燃料などに含まれる超ウラン元素と呼ばれる寿命の長い放射性物質を寿命の短い放射性物質に変えることが出来る可能性はあります。もし、本当にその研究が必要だということであれば、基礎的な研究から始めるべきではないでしょうか?

もんじゅを廃棄物減量化のための研究に使うというのは、危険なばかりでなく、なんとしても廃炉にさせないために動かす理由を後付けしているだけで、ことあらば高速増殖炉開発復活させたいとの思惑が見え隠れしているのではないのでしょうか。